

まちづくりだより

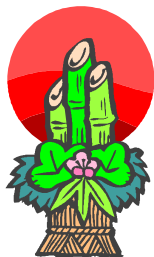


発行：名取まちづくり株式会社 TEL022-384-3234

平成25年1月 1日

年頭のご挨拶

名取まちづくり株式会社 代表取締役社長 佐々木 博之



新年あけましておめでとうございます。地域の皆様方には、新たな希望と決意をもって新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃よりまちづくり事業にご支援、ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

昨年は領土問題をはじめ、原発の是非、消費税増税、金融情勢混迷、そして年末には国政選挙等、国の根幹を揺るがす課題が発生し、将来への不安を覚える1年でありました。

一方、震災復興の歩みも遅く、一日も早く震災前の当たり前の日常生活を取り戻すとともに、元気を創造し、未来へ自信を持って引き継いでいけるまちづくりを目指して欲しいと、強く願っております。



さて、弊社は昨年10月で設立後5年が経過致しました。先が見えない厳しい状況下、地域活性化の一翼を担い、時代の変化に対応しながら事業の具体化に努め、まちづくりの一助になれるよう行動して参りますので、引き続き、地域の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。最後になりますが、地域皆様のご多幸とご隆盛を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。尚、この5年間の主な活動につきましては弊社ホームページをご覧ください。

URL：http://www.natori-machidukuri.com/

名取市の花 「はなもも」の苗木を贈呈します。

このたび、弊社では、名取市の「市花」である【はなもも】の苗木を条件に該当する方々にお申込みいただき、贈呈することになりました。

これは「水と緑の散歩道事業」の一環として、市内を緑化することにより、潤いと景観の向上を図ることを目的としております。

申込方法：はがきに住所・氏名・電話番号を記入し申し込んで下さい。

宛 先：名取市増田字柳田243（〒981-1224）

名取市商工会 はなもも苗木係 あて 電話：022-346-6291

申込期間：H24.11.1～H25.1.31

引取期間：H25.2.1～H25.2.28

贈呈場所：東園芸（名取市増田字柳田564-1）当選者が直接受け取りとなります。

- 申込条件
1. 申込可能対象地域： ①東側：市道・市役所通り線 ②西側：東北本線 ③南側：増田川及び市道・関の下前線 ④北側：市道・町東中荷線に囲まれた区域
(詳細については弊社ホームページをご覧ください)
 2. 贈呈予定数： 一世帯紅白一對を原則とし50名様（一對2本）、多数の場合は抽選と致します。（抽選結果は後日連絡致します。）
 3. 植栽状況の写真送付：苗木を受け取った方は植栽後の写真を1枚申込先まで送って下さい。
 4. 受取後の管理は申込者が行なって下さい。



また、弊社では「水と緑の散歩道事業」の取組として増田小学校正面前にある卒業生が記念として植えられた大きな「もくせいの木」があることから、小学校西側道路に面した場所に、近くにお住まいの方々及び増田小学校のご協力をいただき「きんもくせい」の苗木を植栽いたしました。数年後には黄色の花が咲き、香りする【きんもくせい通り】になるでしょう。

「名取駅コミュニティプラザ」からのお知らせ

東北各県観光ポスター・パンフレット類が豊富に揃いました。

コミュニティプラザは『復興は東北の観光から』『観光イベントに参加しよう』のスローガンのもと、各地のホットな観光情報で、東北への観光客増加に繋がればと考えております。



平成24年度も東北6県の各市町村観光担当課を巡回訪問し、観光情報の協力をお願いしました。大きな被災を受けた市町村も徐々に観光PRに努めるようになってきております。

東北全県の新観光パンフレットを是非ご利用下さい。

Office（エクセル・ワード）が利用可能なパソコンを設置しました。

これまでWEB検索用無料パソコンが設置され、ご利用いただいていたが、一部利用者よりOffice利用可能なパソコン設置の要望があり、このたび設置いたしましたのでご利用ください。

- ・ 利用料： 30分100円
- ・ データ印刷も可能です。詳しくは係員にご相談ください。
- ・
- ・ コミュニティプラザは12月29日～1月3日まで閉館となります。
- ・ コミュニティバス（なとりん号）は12月31日1月2日まで運休となります。



平成24年度第一回東北地域中心市街地活性化協議会等交流会が八戸市で開催

平成24年度第一回東北地域中心市街地活性化協議会等交流会が青森県八戸市で開催されました。

【テーマ】は中心市街地活性化への取組と課題



会場は八戸ポータルミュージアム（愛称「はっち」）。この建物は、新たな交流と創造の拠点として、賑わいの創造や観光と地域文化の振興を図ることで、中心市街地と八戸市全体の活性化を目指す目的で、建物・展示・事業のコンセプトを柱に平成23年2月に開館、今年の1月で100万人を越す来館者で賑わっているそうです。

当開館は誰でも利用でき、活用出来る施設であります。今まで多くの施設を見てきましたが、八戸市民が八戸を再認識でき、市民でない人も八戸を知ることができるよう作られています。

又設計・監理は当市の針生承一建築研究所が行なっています。名取市としても今後のまちづくりの参考に訪れて見たいひとつであります。